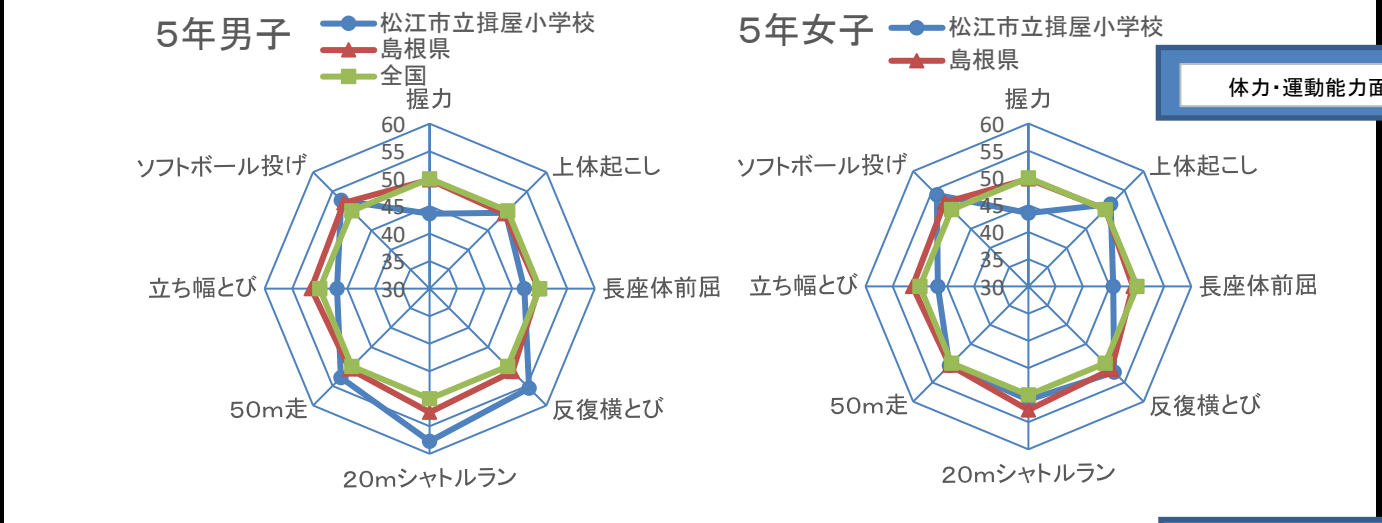
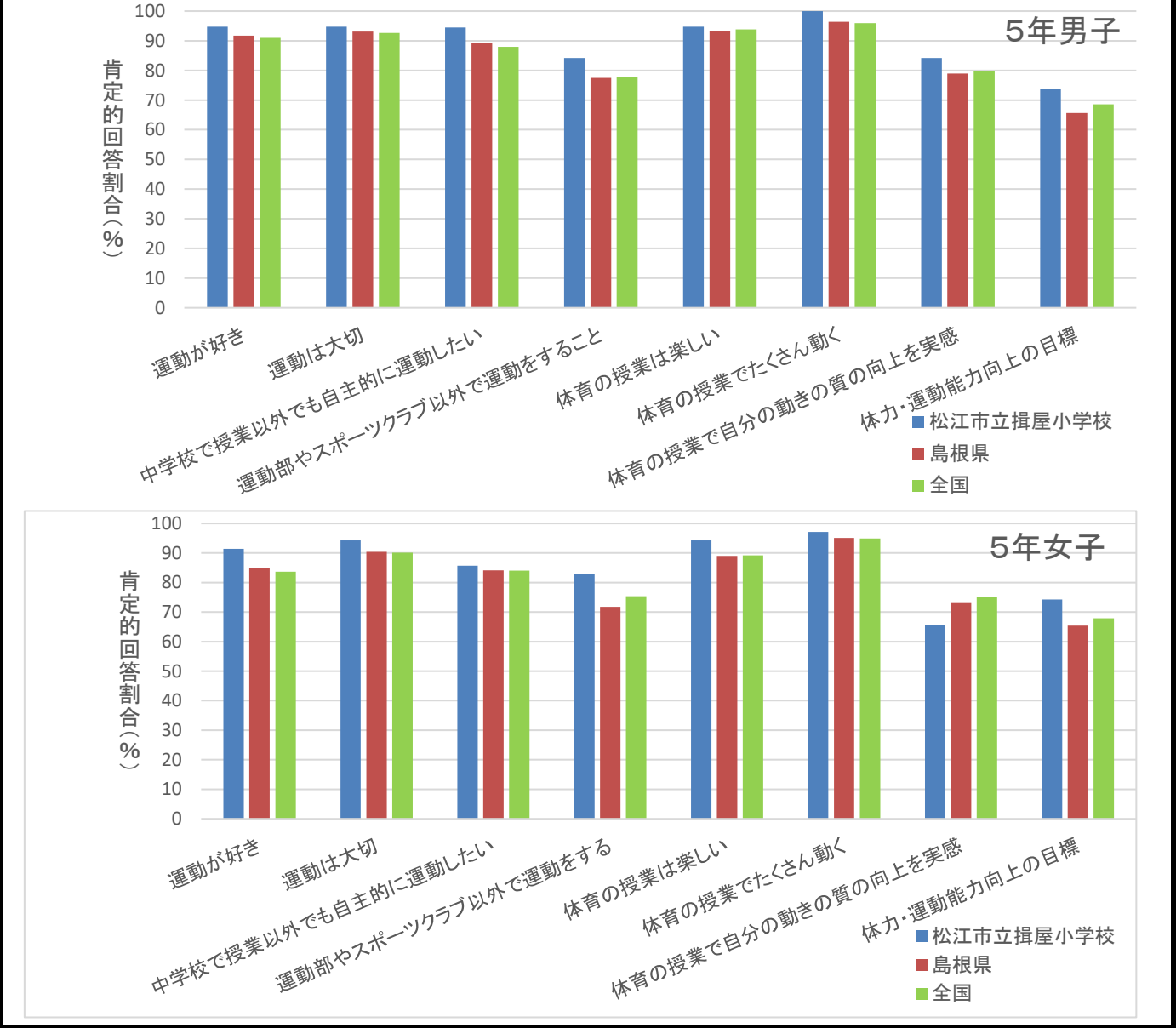


(1) 令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)

(2) 調査結果の分析



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査＜意識調査＞の結果
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



①体力・運動能力面
強み ○男子では特に「ソフトボール投げ」「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」が全国平均を上回っている「投力」「敏捷性」「持久力」「走能力」が強みである。 ○女子では特に「ソフトボール投げ」「上体起こし」「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」が全国平均を上回っている。「投力」「筋持久力」「敏捷性」「持久力」「走能力」が強みである。
課題 ●男子では特に「握力」「長座体前屈」「立ち幅とび」が全国平均を下回り、「筋力」「柔軟性」「瞬発力・跳能力」が課題である。 ●女子では特に「握力」「長座体前屈」「立ち幅とび」において全国平均を下回り、「筋力」「柔軟性」「瞬発力・跳能力」が課題である。
次年度の対策 ○鉄棒運動や鉄棒、雲梯等の遊具を使った運動を継続して行う。 ○器械運動を行う時期に限らず、柔軟性を高める運動を1年を通して継続的に行う。 ○なわ跳びや器械運動、ボール運動を行う際、跳ぶことや足の使い方を意識させることで瞬発力・跳能力を高めていく。

②意識面
強み ○男子では全ての項目の割合が全国平均よりも高い。特に「体育の授業でたくさん動く」の項目では全員が肯定的回答をしている。 ○女子では「体育の授業で自分の動きの質の向上を実感」以外の項目の割合が全国平均よりも高い。
課題 ●女子では「体育の授業で自分の動きの質の向上を実感」の割合が全国平均よりも低い。
次年度の対策 ○各種目領域において、児童同士で動きについて伝え合ったり、タブレットで自分自身の動きを見て次に生かしたりすることで、自分の動きの質の向上を実感できるようにする。

(3) 令和4年度の方針【学校全体での取組】

- ①体力向上や体育授業に関する校内研修会等の計画について
○本校の課題を踏まえた校内研修会を企画し、日々の授業に生かすことができるようにする。
○授業研究に限らず、体育の授業を教員間で見合うことができる環境を作り、互いの指導力が高まるようにする。
- ②体育科授業の工夫・改善について
・年度初めに今年度の体力調査・運動能力調査結果を全体で確認した上で、各学年で確認・分析し、授業改善に役立てる。
・今年度の揖屋小、全国、県の結果を種目ごとに児童に掲示し、目標をもって取り組むことができるようにする。
- ③体育授業以外の活動の工夫について
・体育委員会主催のドッジボール大会や縄跳び大会等を全校として行い、目標をもって体を動かすことができるようにする。
・本校は外遊びをする児童が多いという点を踏まえ、いつでも運動用具を使用できるよう環境を整える。
・全校で体幹トレーニングを音楽に合わせて行う。(昼休みの後)
- ④家庭・地域、近隣の学校・園等との連携、情報発信について
・学校だよりや保健だより等で運動や健康に関する内容を発信していく。
・学園連絡会や保幼小連絡会等を通じて、運動面についての内容についても話題に挙げ、情報共有しながら、各学校園での指導に生かせるようにする。